

平成25年度事業計画

1. 「自然と触れ合う機会を提供する」
2. 「自然環境の保護・保全・再生を試みる」
3. 「将来的に持続する仕組みを作る」

昨年度、内容に即して事業項目を変更した各事業内容は、それぞれ今まで通り継続していく。

1. 「ヤゴ救出作戦事業」「水辺の教室」「身近な植物観察会」
「外来生物啓発紙芝居」は、植物だけでなく他の生きものを題材とした形で作成したい。
2. 「モリアオガエル生息地保全」「公園愛護クラブ運営(西緑地公園保全)」
「インベーターやっつけ隊」……助成金終了

平成23年度に「いろはす・地元の水応援プロジェクト」に採択されてきっかけができた事業内容は、各々助成金を申請して発展させた。

3. 「TOTO水環境基金」で「生きものマーク研究会」を継続する。……(後半40万)
 - ・ 「モニタリングサイト 1000 里地調査」で得られた中須地域の情報や他地域での生物多様性を視点にした情報を基に、「生きものマーク」を活用した将来的に持続する仕組みの検討を続ける。
 - ・ 環境省・農林水産省・経済産業省などの国の方針を把握し、地域と企業などの活動をコーディネートできるよう、「生きものマークで地域を繋げよう事業」に発展させていく。

「シマトネリコ調査研究」は「みんなの森づくり活動助成金」の後半の計画を進める。(後半40万)
2年目も採択されてもされなくても、「市民シードバンク運営・地域の苗木育成事業」に発展させていく。

「外来植物侵入状況・在来植物分布調査・研究」と合わせ、シマトネリコなど現在多く利用されている外来植物の代替植物を考案し、外来種対策における解決案を模索し、提言を作成していく。

昨年度同様、他の外来生物の問題も扱えるような計画を発案したい。

「情報発信」は、助成金・寄付金収入に繋げるようもっと積極的に進めていく。

「関係機関・団体との連絡・協働」により、さらに活動の幅を広げていく。